

農林水産大臣賞
とくていひえいりかつどうほうじん おおやませんまいだほぞんかい
受賞者 特定非営利活動法人 大山千枚田保存会
(千葉県鴨川市)

【年間来訪者 3 万人以上！全国に先駆けたオーナー制度など、都市農村交流を通じた地域活性】

1 取組の動機と背景

特定非営利活動法人大山千枚田保存会が活動する鴨川市旧大山村は、千葉県最高峰の愛宕山の麓にあり、都心から車で2時間弱と「東京から一番近い棚田」があり、降雨だけで耕作している全国的にも珍しい棚田という生産条件が不利であること等の理由から、以前から住民の高齢化、担い手の不足、耕作放棄地の増加が顕著であった。

そのような状況において、鴨川市が、都市と農村の交流による農村環境の保全と地域の振興を目的として、「鴨川市リフレッシュ事業構想」をまとめたことをきっかけに、大山地区で、地主、地元住民、市の間で、地域の課題を解決するための都市農村交流の活用について協議が進み、都市農村交流を実践する組織として、平成9年度に本保存会を設立した。

地域住民は、それぞれの得意分野で地域に貢献するため、体験インストラクターや、直営する農家レストランスタッフ等、様々な分野で活動に参加するとともに、全国に先駆けた「棚田オーナー制度」等により、都市住民の力を借り、交流、共生を進めながら、耕作放棄地の解消、景観の整備など、地域の課題解決を図っている。

「大山千枚田（棚田）」を核として、年間自然豊かな里山の環境保全と、都市との交流を通じた豊かで潤いのある地域社会づくりに向けた幅広い活動を展開している。

2 主なむらづくりの内容

- 都市農村交流による地域活性化を目的とした棚田オーナー制度の実施や、中学生の農山村留学の受け入れ、参加集落で楽しみながら遊休農地を管理する「プチ草刈りサミット」など、多岐にわたる活動を実施中。
- 「家づくり体験塾」プロジェクトでは古民家の再生を通じて日本の伝統建築と国内産の木材の価値を見直し、森林の再生に寄与するために地元林業家、地元大工と連携しながら活動を実施中。
- 古民家レストラン「ごんべい」にて地場産農産物の利用及び販売を行い、地域の食文化や農産物の普及に貢献。
- 後継者の育成として、地域移住者への活動の参加及び役員、支援者、事務局で定期的に体験インストラクターとしてのスキルアップ講座を開催するなど技術の継承を行っているほか、大山千枚田棚田オーナー制度参加者への農作業技術の普及・継承を実施中。



棚田オーナーの田植え



家づくり体験塾



体験学習（祭り寿司づくり）



古民家レストラン